

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成23年2月3日 (2011.2.3)

【公表番号】特表2009-522674(P2009-522674A)
 【公表日】平成21年6月11日 (2009.6.11)
 【年通号数】公開・登録公報2009-023
 【出願番号】特願2008-548930(P2008-548930)
 【国際特許分類】

G 0 8 G 1/16 (2006.01)

G 0 8 G 1/09 (2006.01)

B 6 0 R 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 8 G 1/16 A

G 0 8 G 1/09 F

B 6 0 R 21/00 6 2 8 B

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月24日 (2009.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両（20）の運転手が、該車両（20）のターン時に軽量車両（10）を見過ごさないようにする方法であって、該軽量車両（10）は、通信信号（40）を通信手段に向けて送信又は反射する手段（30）を備え、該通信手段は、前記車両（20）付近の前記軽量車両（10）の存在を前記運転手（22）に通知する通知手段（60）を備え、前記軽量車両（10）が、少なくとも、信号を送信又は反射する手段を備え、該信号が前記通信手段によって受信され、該通信手段が、カーブ側に配置され、前記軽量車両の存在又は該軽量車両の接近を前記車両の前記運転手に通知する光学手段及び／又は音響手段を備えることを特徴とする、方法。

【請求項 2】

前記通信手段が無線信号（42）を前記軽量車両（10）に送信する送信手段（22）を備え、該軽量車両（10）が前記無線信号（42）を受信する手段（70）を備え、前記軽量車両（10）上の該手段（70）が、受信された前記無線信号（42）を電力に変換し、該電力が、前記手段（70）が無線信号（40）を少なくとも1つの受信機（50）に送信するのに使用され、該受信機（50）が前記通信手段内に配置されることを特徴とする、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記通信手段が支柱に配置され、該通信手段が、前記軽量車両の接近を前記車両の前記運転手に通知する光学手段及び／又は音響手段を備えることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

さらなる通信手段が前記車両に配置され、該通信手段が、前記軽量車両の接近を前記車両の前記運転手に通知する光学手段及び／又は音響手段を備えることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記車両（２０）が、無線信号を送受信するさらなる手段を助手席側に備え、該手段が前記車両（２０）に沿って且つ該車両（２０）の前方に配置されることを特徴とする、請求項４に記載の方法。

【請求項６】

前記車両（２０）が多数の結合された送信機（２２）及び受信機（５０）を備え、該送信機（２２）及び受信機（５０）が、前記軽量車両（１０）の実際の配置の指示を達成するように時間多重化されることを特徴とする、請求項５に記載の方法。

【請求項７】

前記車両（２０）が、該車両（２０）に関連して前記軽量車両（１０）の前記実際の位置を指示する指示手段（３８）を備えることを特徴とする、請求項６に記載の方法。

【請求項８】

軽量車両（１０）と通信する装置であって、該装置（３２）は少なくとも１つの受信機（３４）を備え、該受信機（３４）は前記車両の運転手との通信用の少なくとも１つの指示灯（３６）及び／又は少なくとも１つの音響アラーム（３８）に接続され、前記軽量車両（１０）は送信機（７１）を備え、前記軽量車両が、電磁放射又は音響放射を該装置に向けて反射又は送信する反射器又は送信機を備え、該装置がカーブ側に配置され、該電磁放射又は音響放射を受信する受信機を備え、光学信号及び／又は音響信号によって前記運転手に通知することを特徴とする、装置。

【請求項９】

支柱に配置され、前記軽量車両の存在又は該軽量車両の接近を点滅光及び／又は前記音響信号によって前記運転手に通知することを特徴とする、請求項８に記載の装置。

【請求項１０】

少なくとも１つのさらなる装置が、前記車両に又は前記車両内に配置され、点滅光又は前記音響信号によって前記運転手に通知することを特徴とする、請求項８に記載の装置。

【請求項１１】

前記装置が、少なくとも１つの無線送信機（２４）及び少なくとも１つの無線受信機（３４）を備え、前記軽量車両（１０）が少なくとも１つの受信機（７２）を備え、該受信機（７２）が前記受信信号（７６）に基づいて電力（７４）を発生及び貯蔵し、該貯蔵された電力（７８）が前記送信機（７１）に供給されており、該送信機（７１）が信号を送信し、該信号は符号化された識別情報を含み、該符号化された識別情報は、カーブ側に配置される少なくとも１つの受信機（５０）によって受信されることを特徴とする、請求項８～１０のいずれか一項に記載の装置。

【請求項１２】

前記受信機（７２）及び前記送信機（７１）が組み合わせられて１つの回路になり、該回路はＲＦＩＤタグであることを特徴とする、請求項１１に記載の装置。

【請求項１３】

前記ＲＦＩＤタグが光反射手段と結合して配置され、該光反射手段は前記軽量車両（１０）に固定されることを特徴とする、請求項１１又は１２に記載の装置。

【請求項１４】

前記支柱が、該支柱に結合して配置されるソーラーパネルによって給電され、該支柱はエネルギー貯蔵手段を備えることを特徴とする、請求項８～１３のいずれか一項に記載の装置。

【請求項１５】

軽量車両（１０）との通信用の装置であって、該装置（３２）は前記軽量車両の接近を前記車両（２０）の運転手に通知し、少なくとも１つの検出器を備え、該検出器は少なくとも１つの指示灯（３６）及び少なくとも１つの音響アラーム（３８）に接続され、該装置は、カーブ側に配置される支柱に配置され、前記軽量車両を検出する少なくとも１つの検出器を備え、前記支柱が、前記軽量車両又は人の接近を前記車両の前記運転手に警告する、地面に配置される通知手段を備えることを特徴とする、装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

【図1】右折中の車両の進路を示す図である。

【図2】交差点に接近している車両を示す図である。

【図3】携帯電話サイズのボックスを備える車両を示す図である。

【図4】受動RFIDタグを有する反射器を備えるバイクを示す図である。

【図5】受動RFIDタグを備えるスクーターを示す図である。

【図6】車両に結合して動作する装置の原理図を示す図である。

【図7】結合された無線受信機及び送信機を示す図である。

【図8】道路を走行する車両を示す図である。

【図9】電子部品を示す図である。